

令和 7年度

事務事業評価表 ( 令和 6年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 7 年 4 月 14 日

事務事業名		予防接種事業					事業区分		担当	
							新規/継続	継続	事務事業No.	010201000331
							単独/補助	補助	所属課	040401 健康推進課
政策体系	総合計画の施策名	0102 健康づくりの推進							課長名	
	政策名	01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり							グループ	管理
	施策名	02 健康づくりの推進							担当者名	
	手段名	01 ①健康づくりの推進								
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し (年度~)	
	01	04	01	02	01	00	予防総務事業		☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠	予防接種法、感染症法、桜川市小児任意予防接種費用助成事業実施要項、桜川市風しん(成人)予防接種費用助成事業実施要項、带状疱疹任意予防接種実施要綱									

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>【目的】 予防接種法及び感染症法に基づき、市民に予防接種を実施し、伝染の恐れがある疾病の発生及びまん延を防止し、公衆衛生の向上及び増進に寄与する。また、予防接種実施による健康被害が発生した場合、迅速な救済を図ることを目的とする。</p> <p>【手段】 県医師会及び真壁医師会桜川支部と委託契約を締結し、個別接種を実施する。</p> <p>【実施する予防接種の種類】 定期予防接種：A類疾病(ロタ、B型肝炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、4種混合、BCG、MR、日本脳炎、水痘、2種混合、子宮頸がん予防ワクチン、成人風しん第5期(令和9年3月まで延長)、5種混合) B類疾病(高齢者インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌、新型コロナウイルス、带状疱疹(令和6年より開始)) 任意予防接種：おたふくかぜ、小児インフルエンザ、大人風しん、带状疱疹ワクチン</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>桜川市予防接種対策協議会を開催し、予防接種事業を検討、実施計画の立案</li> <li>法改正に伴う規則及び要項改正、桜川市独自補助事業実施のための要項制定及び改正</li> <li>県医師会、真壁医師会桜川支部及び県外医療機関と予防接種業務委託締結</li> <li>対象者を抽出し個別通知を発送、広報やホームページ等での周知</li> <li>実施計画に基づく実施方法等の医療機関との調整、委託請求書の受理及び支払事務</li> <li>被接種者の記録を予診票から端末に入力し、個人の接種歴の管理</li> <li>未接種者への接種勧奨 ・ 県へ実績報告</li> </ul>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
対象者抽出と個別通知発送。 未接種者への勧奨の実施。 予防接種協力医療機関との契約及び支払い事務	市が実施した予防接種	種類	17.00	21.00	21.00	21.00	21.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
市民	対象者延数 (MR1期接種者)	人	125.00	134.00	134.00	134.00	134.00
	対象者延数 (高齢者インフルエンザ接種者)	人	13,774.00	13,804.00	13,900.00	13,900.00	13,900.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
予防接種対象者及びその保護者が、予防接種の必要性や副反応について理解し、予防接種を適切な時期に接種する。 予防接種対象疾病の発生予防及びまん延防止。	MR1期接種率	人	92.80	92.50	100.00	100.00	100.00
	高齢者インフルエンザ接種率	%	64.40	57.60	60.00	60.00	60.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	千円	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
			国庫支出金	916	900	0			
			県支出金	0	0	0			
			地方債	0	0	0			
			使用料・手数料	0	0	0			
			その他	0	0	0			
			一般財源	69,872	124,816	75,071			
			事業費計(A)	70,788	125,716	75,071			
			正規職員従事人数	2.00人	2.00人	2.00人			

事業費の内訳	06年度事業費 実績(千円)			07年度事業費 予算(千円)		
	08 旅費	13		08 旅費	17	
	10 需用費	458		10 需用費	660	
	11 役務費	28		12 委託料	73,728	
	12 委託料	124,980		18 負担金補助及び交付金	666	
	18 負担金補助及び交付金	237				
			合計	125,716		合計

(4) 当該年度の実施内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	予防接種法に基づく定期接種、任意接種を実施する。適切な時期に適切な予防接種ができるよう接種勧奨する。	予防接種法に基づく定期接種、任意接種を実施する。適切な時期に適切な予防接種ができるよう接種勧奨する。	予防接種法に基づく定期接種、任意接種を実施する。適切な時期に適切な予防接種ができるよう接種勧奨する。

事務事業名	予防接種事業	事務事業No.	10201000331	所属課	健康推進課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 公費負担による定期予防接種の種類は増えている。乳児期に受けるものが増え、回数や接種間隔も複雑になっている。かかりつけ医での接種を推奨するため、広域予防接種契約により県内医療機関で接種できるように整備、県外接種者にも契約にて接種できるように整備または償還払いの実施。平成29年に子どもの健診と予防接種ガイドブックを作成、令和6年より5混、コロナが定期化となった。また令和7年より带状疱疹ワクチンが定期化となり、併せて50歳以上の方にも任意接種を継続実施となる。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 小児の任意予防接種について、市外の医療機関への委託契約や償還払いによる経済的負担の軽減への要望。 HPV感染症予防ワクチンの接種勧奨について、医師会及び議会からの要望 骨髄移植等の医療行為により免疫消失した方に対する助成制度の要望 コロナの影響により受診を控えていた方等から、対象年齢を引き上げてほしい等との要望があった。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 「健康づくりの推進 予防接種を充実させる」に一致する。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 予防接種法及び感染症法に基づき実施している。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 予防接種法に基づいている。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 法改正がない限り、廃止・休止はない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業は無い。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 業務時間の削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民に公平に周知している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 予防接種法に基づき、適切に事業を継続している。 重大な事故の発生はなかった。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>	
--	--	--	--